

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2022年度)

専門分野区分	デザイン・作画技法	科目名	デッサン I				科目コード	D0490A1		
配当期	前期	授業実施形態	通常				単位数	4 単位		
担当教員名	刀根 純子	履修グループ	1K(DA/DV/MC/SC)				授業方法	演習		
実務経験の内容	予備校、美術大学で学んだ基礎力をベースにグラフィックデザイナーとしてデザイン会社に3年間勤務、その後の十数年の絵画・デザイン制作の経験を活かして、様々なニーズの仕事に対応するための立体的な視覚スキルの向上を目指して講義する。									
学習一般目標	立体物がどのように見えるかを理解し、立方体、円柱、球の基本的な形を表現することができる。 人物デッサンを通して、筋肉や骨を意識したリアルな表現で描くことができる。 風景デッサンを通して、パースを理解し、表現することができる。									
授業の概要および学習上の助言	現実世界で立体的なもののみえ方(質感、パース、光の性質)を理解し、オリジナルの作品をよりクオリティの高いものにするために、観察力や画力のスキルを上げ、基本となる鉛筆で立体をリアルに表現する技法を学ぶ。									
教科書および参考書	『静物デッサンテクニック』 誠文堂新光社 『アーティストのための美術解剖学』 マール社 必要に応じてプリント配布。									
履修に必要な予備知識や技能	道具がきちんとそろっていないとよいデッサンはできません。 忘れ物はしないはもちろん、鉛筆はきちんと削った状態にして、授業に臨んでください。									
使用機器	鉛筆(推奨: 3H、H、HB、B、3B 各1本)、練消しゴム、普通のケシゴム、カッターナイフ、スケール、目玉クリップ 削りカス入れ簡易ゴミ箱									
使用ソフト										
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	基本形を理解し描くことができる。								
	1	人体の構造を理解し描くことができる								
	1	立体空間を理解し、風景を描くことができる。								
	1	デッサンを通して物体の見え方を理解し、表現することができる。								
5	講義と実習において、意欲を持って取り組むことができる。									
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解					80			80
		2.思考・判断								
		3.態度								
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							20	20
総合評価割合						80		20	100	
評価の要点										
評価方法	評価の実施方法と注意点									

試験	
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	授業内で制作する作品を提出する。 課題に対する理解度・完成度から評価を行う。 ※立体表現、描きこみに特に注意すること。
ポートフォリオ	
その他	授業に対する姿勢や課題に対する取り組み、出席状況。

### 授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	デッサンの重要性 道具の説明、遠近法について グレースケール等	講義・実習	
第2回	【立方体の表現】 ・形の捉え方、陰影表現	講義・実習	
第3回	【立方体の応用】 ・立方体の基本を理解して描く	講義・実習	
第4回	【円柱の表現】 ・形の捉え方、陰影表現	講義・実習	
第5回	【円柱の応用】 ・円柱の基本を理解して描く	講義・実習	
第6回	【球体の表現】 ・形の捉え方、陰影表現	講義・実習	
第7回	【球体の応用】 ・球体の基本を理解して描く	講義・実習	
第8回	【風景の表現】 ・空間の見え方を理解し描く	講義・実習	
第9回	【風景クロッキー】 ・街中に出たの風景理解	講義・実習	
第10回	【人物クロッキー】 ・様々な動きの表現理解	講義・実習	
第11回	【人物デッサン】モデル	講義・実習	後日日程調整
第12回	【静物デッサン】コンクリートブロック ・卓上表現	講義・実習	
第13回	続き【静物デッサン】コンクリートブロック ・卓上表現 【まとめ】	講義・実習	
第14回	課題解決型授業1 【自身の手をクロッキー】	遠隔授業 実施時期:1期	

第15回

課題解決型授業2  
【風景スケッチ(一点透視)】

遠隔授業  
実施時期:3期